

多摩川河口干潟の生きもの観察会 第5回

日時：2019年7月20日（土）11:30～14:30

場所：川崎市環境総合研究所 1階大会議室、多摩川河口干潟（川崎区殿町3-25-13地先）

干潮時間（川崎の潮位）：31cm（12:56） **天気**：雨時々曇り

テーマ：「干潟のカニの求愛ダンス」

対象：小学生以上

参加者：63名 こども31名、おとな32名

講師：江良弘光氏（サイエンスグラフィックイラストレーター）
小林 範和氏（鶴見川流域ネットワーク）

スケジュール：

時間	内容
11:15	受付開始
11:30	開会（あいさつ、今日の説明、講師・スタッフ紹介）
11:40	講義 ●干潟ってなんだろう？ シジミとアサリによる水質浄化実験 ライフジャケットの着用方法・身支度準備
12:15	観察会 ●干潟に行ってみよう！ 干潟に出て、生きものの採取と観察
14:10	貝の浄化実験の確認、まとめ
14:30	アンケート記入、閉会

内容：

- 講義
 - ・干潟の干満のメカニズム、生態系の特徴
 - ・干潟に暮らす生きもの
 - ・干潟の水質浄化の仕組み

- 安全講習
 - ・履物、ライフジャケットの着用について

●準備

参加者の服装・装備

貸出：ライフジャケット、バケツ、移植小手またはシャベル

各自持参：長靴（田植え用長靴、または履き口フード付きのもの、脱げにくいもの）、
よごれてもいい服（長袖長ズボン）、軍手、帽子、飲み物

※長靴を持っていない方には、田植え用長靴の貸出を行いました。

●観察会

干潟の生き物たちは周囲の環境ごとにすみ分けているので、そこに注目しながら、どこにどんな生き物がいるか観察しながら採取しました。カニごとに違うダンスの様子を観察しました。

●シジミによる水質浄化実験

観察会の出発前に、3つの容器に川の泥水をいれて、2つの容器にはシジミ、アサリをそれぞれ投入し、3つ目の容器には何も入れず、観察から帰ってきたら（約1時間半～2時間後）どうなっているかを観察しました。

今回観察した生きもの (採取した生きものは観察後、元の場所にもどしました。)

全14種類

- 甲殻類 カニ 9種 (ヤマトオサガニ、タカノケフサイソガニ、チゴガニ、コメツキガニ、アシハラガニ、ベンケイガニ、クロベンケイガニ、カクベンケイガニ、アカデガニ)
- 貝類 3種 (ヤマトシジミ、マガキ、コウロエンカワヒバリガイ)
- その他 2種 (フナムシ、ゴカイの仲間)



<参加者の感想> (一部抜粋)

- ・カニがとつてもくすぐったい。カニを捕まえられてよかった。おなかのところが丸いって知れてよかった。(子ども)
- ・カニはいろんな種類があるんだと気づいた。干潟とは陸になったり海になったりする所のことなの分かった。(子ども)
- ・ダンスの通りがわかって、今度学校で披露してみたい。(子ども)
- ・川崎に貴重な干潟があることを再確認できました。実際につかまえ、解説してもらえる機会は子供の関心を高めるきっかけになっております。(大人)
- ・子どもが夢中になってカニを捕まえている姿をみて嬉しかった。狭い範囲にたくさんの数、種類のカニがいて驚いた。(大人)
- ・なかなか探せていないときに丁寧に教えていただいて助かりました。(大人)
- ・道具を準備していただいたので手軽に参加できました。更衣室もあり、とても気配りをさせていただいてとても楽しかったです。(大人)